

No. 71

2008

11月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
林 稔
印刷
下市田・キタバヤシ印刷



◆「萩の郷祭り」が開催される。
夏の宵のひと時を楽しみました。
(3 ページ)

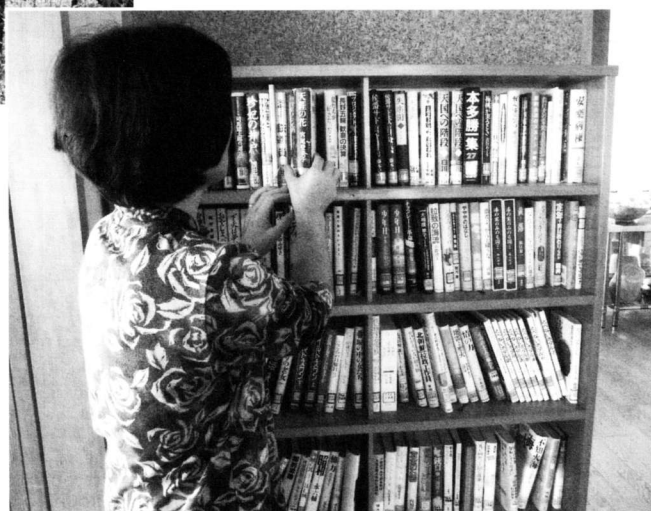
◆「文化祭り、萩の郷ふれあい広場」が
開催される。
力作揃いの作品が展示され、また舞台
では熱演が繰り広げられました。
(4 ページ)



◆「写真で残そう萩の郷」
事業始まる。
郷土の歴史、文化を今に
残す史跡等を写真で伝え
ます。
(9 ページ)



◆「私からお薦めの1冊」を紹介します。
秋の夜長、支館図書を活用されては
いかがでしょうか。
(10 ページ)



萩の郷、
わが郷土

今日も、
元気に！

区の情勢について

区長 林 稔

納涼「萩の郷祭り」は七月二十六日、天候に恵まれ、大勢の皆様に参加を頂き盛大に行うことが出来ました。厚く御礼を申し上げます。

二十一年度の地区計画が始まりましたが、二十年度の状況は、道路・河川関係維持・舗装・敷設など三十数箇所、防火設備は二区と六区に防火水槽が二箇所他、消火栓や付属器具・防犯灯・カーブミラー等施行されております。

下市田区は九月七日、防災訓練が実施されるに当たり、今年は緊急連絡網に独立世帯とアパートまでの情報伝達訓練と防災訓練への参加を呼び掛けました。

情報伝達は電話によるため、事前の了解が必要で、いろいろな隘路がありました。各自自治会毎に今までの体験等を基に、往復ハガキ送付や各戸に足を運ぶなど、大変ご苦労を頂きました。区には三百世帯の常会未加入者があり、しかも高齢者世帯も増えています。日頃から声を掛け合い、絆を保つ事が「いざ」の時の連帯につながります。

今回、成果とするには遠くありましたが、今後

もこの経験の上に、工夫を凝らし呼び掛けを重ねて参りたいと思います。関係者への感謝と、区民皆様のご協力をお願いします。

旧下市田学校校舎が、県の「地域発元気づくり支援金」の対象事業となり、屋根など七百余万円の予算で改修されます。明治二十一年に竣工して百二十年が経過するという旧学校は、この校舎で学ばれ、統合移転

委員会活動報告

土木委員長 酒井博之

しのぎ良い季節となつて参りました。区民の皆様方には、日頃より土木委員会事業活動に大変ご理解とご協力を頂いております事を、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。さて、早いもので、委員会活動も半期が経過致しまして、本年度の地区計画事業も順次消化されている現状です。今現在平成二十一年度以降三ヶ年の地区計画の策定に取組んでおります。策定に当っては各自自治会からの地区計画要望事項について、下市田区関係役員の皆さんと鋭意検討しているところですが、

を経験された方々も大勢おられます。

今度は会議室、展示・教室などの内部も間仕切りや最低限の補修が施され文化財を身近に感じながら、愛護して行くのが事業目的です。是非、展示会や学習教室として、懐かしい校舎の雰囲気の中で大いにご利用頂ければと思います。

今年も下市田日赤奉仕団の皆さんにより、区民会館の座布団カバーを洗濯して頂きました。感謝します。

町の財政難の中、地域の安全、安心が第一であり、区民の皆様にとって暮らし良い計画となる様、土木委員会は真剣に取組んで参りますので、今後共一層の区民の皆様のご理解とご協力を賜ります様よろしく御願い申し上げます。



平成20年度 下市田区一般会計中間決算報告書

(自平成20年4月1日～至平成20年9月30日)

決算収入額 20,712千円 決算支出額 11,586千円 差引残高 9,126千円

【収入の部】

科 目	予算額	中期決算額	摘 要
1. 区 費	15,700	7,599	一般、法人、特殊区費
2. 繰 入 金	1,000	0	特別積立金利息
3. 町 支 出 金	4,350	3,706	各種事業町補助金
4. 財 産 収 入	1,500	1,186	区有地貸地料
5. 地 元 負 担 金	350	333	各種事業地元負担金
6. 消 防 義 務 金	2,150	1,910	消防義務金
7. 諸 収 入 金	1,500	274	預金利息、その他
8. 前 期 繰 越 金	4,680	5,704	前年度繰越金
収 入 合 計	31,230	20,712	

【支出の部】

(単位 千円)

科 目	予算額	中期決算額	摘 要
1. 総 務 費	12,020	4,490	総務一般経費
2. 環 境 衛 生 費	1,050	0	事業活動費
3. 林 務 費	900	168	事業活動費
4. 土 木 費	4,800	498	事業活動費
5. 水 利 費	4,060	2,360	事業活動費
6. 防 災 費	2,600	658	事業活動費
7. 公 民 館 費	3,000	1,500	事業活動費
8. 予 備 費	2,800	1,912	
支 出 合 計	31,230	11,586	

注) 事業費の支出は後期が重点となっています。

平成20年度 高森町公民館下市田支館 中間決算報告書

(自平成20年4月1日～至平成20年9月30日)

決算収入額 2,544,861円 決算支出額 1,868,531円 差引残高 676,330円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
繰 越 金	727,000	659,063	△ 67,937
繰 入 金	3,000,000	1,500,000	△ 1,500,000
補 助 金	370,000	369,900	△ 100
雑 収 入	1,000	15,898	14,898
収 入 合 計	4,098,000	2,544,861	△ 1,553,139

【支出の部】

△印減 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	増 減
総 務 費	2,200,000	994,877	△ 1,205,123
事 業 費	1,820,000	868,294	△ 951,706
広 報 費	20,000	5,360	△ 14,640
予 備 費	58,000	0	△ 58,000
支 出 合 計	4,098,000	1,868,531	△ 2,229,469

地元町議との懇談会

平成二十年度、地元出身町議会議員との懇談会が、去る六月七日(土)午後七時より下市田区民会館に於いて開催されました。

久保田昌幸議員・上沼眞守議員・宮外正彦議員・小島福夫議員の四議員が出席され、地元の皆さんからの質問に意見を述べて頂きました。

では、民間の力を入れて、町におんぶに抱っこでない社協にしてほしい。

A 審議会に対して議会は物を申せる。いい社協になるようにしていきたい。

Q 蘭植物園の課題について、議員活動の中で、どういう考えで、どういう取り組みをし行動してきたか、議員活動がみえない。

A 一貫して反対し、町長の考えを正してきたが、思ったような回答が見い出せなかった。先が見えない状況なの、町は多額の持ち出しを続けている。廃止というのではなく、休園して、プロジェクトチームをつくり、今後どうしていくか考え、それでもダメなら廃園もやむを得ない。そうなった時、誰が責任を持つか迫及していきたい。

質疑応答

Q 社協の事務局が、あさぎりの里からやすらぎ荘に移り、そのあとを厚生連に貸し出すとの事だが、杉の木ホールは今までどおり借りられるのか。

A 六月の定例議会で決まることになっているが、一応町の社協である。理事会に議長、評議員会には正副委員長が出ていて、そこから説明がないとわからない。しっかり協議し町側の姿勢を伺っていきたい。

Q 以前町長が町議の時に社協に対しては口が出せない話があったが、理事会に議員が出ているのに、ちがうではないか。天下り

A 今年三月の当初予算の審査の際、産業建設委員会に町長を呼んで真意を正した。また、委員会において予算を半分減額する提案をしたが、半数に至らず実現できなかった。しかしインパクトにはなったと思う。

Q 蘭植物園について説明してくれたが、納得できない回答ばかりである。廃止



という前に、議員としてどういう対応検討をし活動してきたのか過程がみえない。

A つくったあとの維持や観光客を多くし、町民に理解を得られるにはどうしていくかという審議はしている。しかし原種を全く譲ってしまうということが当初の目的からはずれており、同じように予算をつぎ込んでいくことはおかしいのではないかと考えている。

その他、来年改選になる議員定数変更の話はあるのか。松岡城跡保存への支援依頼。社協の考え方の変わりように実動部隊が困惑しているとの意見も出された。

今年も盛大に萩の郷祭り

御招待客の皆様のお祝いの言葉に、私達も何とか無事に、楽しく祭りを遂行させようと、気を引き締めました。

勇壮で華麗な太鼓の演奏、保育園児のかわいらしいダンスには心とほほえみ、子供エアロビクスの統制のとれた振り付けにもただ感心させられました。

第四部各自治会による踊りは三区を先頭に、各区とも賞獲得に向け、素晴らしい舞を披露してくれました。

第五部では、四区の子供さん方が、吉川先生、北原先生の御指導の下、縄文の火おこしで火をおこし、花火の点火をしました。小さいお子さんから小学生までが主役の花火大会が、にぎやかに行われ、お祭りもいよいよ終盤です。花火の燃えかすがきれいに片付けられると、全員参加の盆踊り。私も子供の頃に踊ったきりの懐かしい民謡の音楽に自然に誘われる様に輪に入りしました。踊りの輪はたちまち三重、四重にのびていきました。しだいに盛り上がり、童心に戻って楽しく踊る事ができました。

閉会式では、各区の踊り

の審査が発表され、ハーモニック賞、演技賞、盛り上がったで賞、ワイド賞、そろったで賞、和やかムード賞をそれぞれ分かちあいました。どの区も最高で、雰囲気よくまとまっていた、心から「お疲れ様でした」と言わせていただきます。

お祭りを一貫して引き締めて下さった、進行係の適切なアナウンスとコメントは特に良かったと思います。

夏の一大イベント「萩の郷祭り」もこうして無事終了することができました。最後になりますが、祭りの影で一生懸命御協力いただいた関係者の方々に、心から感謝を申し上げます。神津記



平成20年度 下市田文化祭り 萩の郷ふれあい広場



盛況だった 文化祭り

素晴らしい秋晴れの中、十月十八日・十九日の両日に下市田区民会館にて「下市田文化祭り」が開催されました。

グループ及び個人作品の展示発表は屋内・屋外共、十八日は午後一時より四時三十分まで、十九日は午前九時から午後四時まで行わ

れました。
展示品は、二十三グループ、個人など多くの方が出品され、陶芸した。松代記

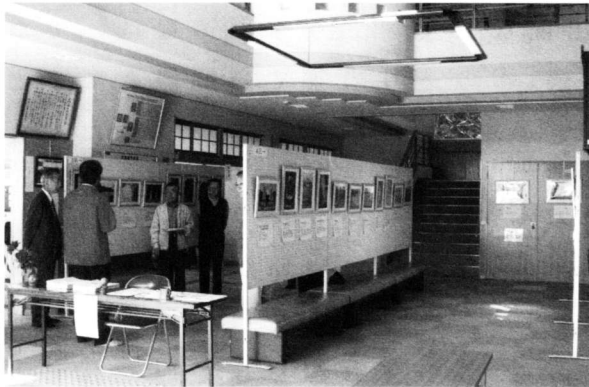
・油絵・水墨画・手芸・書・盆栽・写真などすばらしい作品の展示があり、多数の区民の方が関心をもって見学されました。

今年初めて「写真で残そう萩の郷」の事業が公民館支館で行われ、この度文化祭にロビーにて、郷土の誇る文化遺産のパネル写真が展示されました。

史談会・古文書研究会の卓越した方々の協力を頂き、写真撮影、添え書き等会合を重ね、最終的に写真約五十品が選定されたそうです。

この写真展を見て、下市田区内だけでも、多くのすばらしい文化遺産があることに驚きと共に、感動いたしました。

茶道クラブの皆さんによるお抹茶の接待は、おいしいお菓子と共に頂きました。心和むひとときとなり、多くの方々が楽しんでおられました。



萩の郷 ふれあい広場

ふれあい広場

さわやかな秋晴れの十月十九日、昨年まで敬老会の愛称で親しまれてきた催しを、今年は「萩の郷ふれあい広場」と改称して下市田区民会館の大ホールで開催しました。

当日は下市田区内の七十五歳以上の人生の大先輩の方々百四十二名の方に出席して頂きました。高齢者表彰では「喜寿」「米寿」「卒寿」以上「百十五名の方が表彰を受けました。明治・大正・昭和・平成と激動の中で年輪を重ねてこられた皆様大変におめでとうございます。

午後からは、社会福祉法人アンサンブル会理事・小椋年男氏の「障害への取り組みについて」の講演がありました。自身の娘さんが、知的障害を持って生まれた事をきっかけにアンサンブルの活動を始めた事。周りの人に恵まれてイジメ等は無縁だったが、不登校もあった小学校時代。友達が出来て、同じ目の高さで泣いたり、笑ったり、ケンカした

り、笑ったり、ケンカした

りする様になって、楽しく通学できた養護学校時代。この事で、仲間と一緒に生

きていく事が大切だと考え、その結晶がアンサンブルですと語られました。

人里離れた場所ではなく街の中に生活ができ、働く場所があれば、親からも独立して一人立ちしていける。

現在、松川と伊那にアンサンブルがあり、自立の支援をしていて、「本気で商売をしています」と、おっしゃっていました。

障害を持って子供が生まれても、黙って見ている人ばかりではなく、未来を悲観する事はな

いと力強く話されて講演は終わりました。

恒例のステージ発表では大正琴・エアロビクス・踊り・民謡等、盛り

沢山に素晴らしい発表が続きました。笑顔で歓談する姿は、人生を勝ち越えてきた「幸齢者」

そのものでした。

そこかしこで来年の再会を約束されて、大好評の内に『下市田文化祭り・萩の郷ふれあい広場』が終了致しました。

下平記





「消防団は
何をしているの？」
を伝える良い機会であると
私達も思い、プランを練り
ました。

三番目に子供でも消火器
を使用して火を消したり、
火を弱めて逃げ道
を作ったりするこ
とが出来た事を体
験していただきました。

い、子供達に水
消火器を実際に扱っ
ていただきました。
四番目に行った
バケツリレーは協
力すれば火は消す
ことができる、最
もシンプルで簡単
な消火活動のひと
つです。もう少し
大きくなって実際
の火事があった時

火事を災害はいつ起こる
か判りません。その時消防
団は地域の皆様と共に活動
していければと思います。
また、火の取扱には十分
注意してください。
誘導集団長 佐々木勝久

消防ふれあい広場

高森町消防団第一分団

今回、消防ふ
れあい広場を開
催したところ、
当日は百人を超
える皆様、特に
お子様方と楽し
い時間を過ごせ
た事に感謝いた
します。

今回実施した
消防ふれあい広
場は私達消防団
が中心になって
地域の皆様と交流をする初
めての試みでありました。

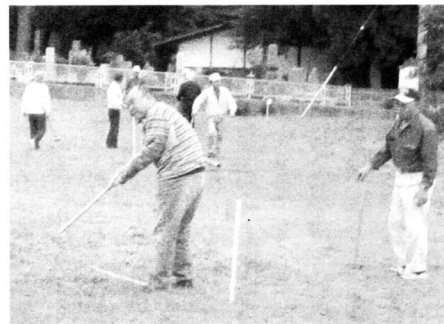
火を消すところを
見ていただく事が消
防団を知ってもら
う始まりと考え、実際
に火災出動から消火・
撤収までの動きを見
てもらいました。

次に飯田・下伊那
地区の大会で第二位
と好成績を収めた高
森町消防団ラッパ班
に演奏してもらいま
した。班員は是非皆
様に聴いていただき
たいとの思いから練
習を重ね、当日披露
させていただきました。



区委員 スポーツ大会

今年もパラパラッと来て
あわやと思われた天気も二
年連続の悲運を覆して、薄
日が差す快適な環境の中、
九月二十八日四十人あまり
が参加する「下市田区委員・
関係役員グランドゴルフ大
会」開催の運びとなった。
水利委員の方たちが工夫さ
れた難コースと長くなった
芝が、かえって巧さや拙さ
を際だたせ、各グループの
中にわき起こる大きな笑い
声とともに一時間余を楽し
み終えた。



く過ごすことが出来た。
第二部は、林区長の挨拶、
田中代議員会長の乾杯で始
まった懇親会。適度な運動
で乾いた喉を美味いビール

編集委員会研修旅行 南知多の旅

編集委員会の研修旅行は
今年度は、六月二十九日に
南知多方面に行つて来まし
た。私は、支館二期目です
ので色々な活動の中で、一
番の楽しみでした。一泊旅
行ではないので、行く場所
は決まっていますが、
今まで一緒に活動して来た
気の合った仲間との小旅行
は楽しいです。
当日、朝から雨降りでした。
始めにアサヒビール工
場を見学して、二回目です
たけど、やっぱり工場に入
れてくれるビールはうまい。

知多に向かう頃には
雨も上がり、海が一望
できるホテルでの美味しい
海の幸を食べながらの小宴
会。ちょっとお酒を頂き過
ぎてダウンしてしまいまし
たが、山育ちの私にとっ
てこんな幸はありません。
やっぱり知多に来たらえ
びせん工場と新鮮な海の
幸の買い物です。
最後に常滑市に行き、
焼き物を見学し買い物で
す。町一帯にお店が有り、
少ない時間ですので全て
のお店は回れませんでした
が目の保養になり、良
かったです。



村上記

楽しい一時も、あと言
う間で終わり、支館最後の
研修旅行でしたので、今回
林区長が都合で行けなかつ
たのは残念でした。

が潤した。上位者に賞品は
無いとのことだったが、代
わりに参加者全員にプレゼ
ントされた格別の味わいだっ
た。個人的な話で恐縮だが、
青少年時代をこの地で送ら
なかった私にとってはこう
した懇親会は遠い人が近い
人になるすばらしい機会だ
がある。今回は『道』の写真
の中塚さんと隣り合わせた
ので、古い道の話に花が咲
いた。気づけば宴はグラン
ドゴルフ一位の松村一さん
の万歳で締めくくられると
ころであった。
環境衛生委員 熊谷豊治

下市田のみなさん

こんにちは

一区出身 瀬 高 隆 裕

(東京都在住)

私が高森を離れて十六年。東京霞ヶ関に勤務し、情報通信の法律制定や国際会議関係に携わっています。今では携帯電話やインターネットが発達して便利な世の中になりましたが、有害情報も問題化しています。誰もが安心して利用できる情報社会の実現に向け、行政の立場から様々な取組みを進めています。

今年の初めに娘が誕生し、家族三人賑やかに過ごしています。東京は便利ですが、夏の熱帯夜、大量のゴミなど、環境問題も考えさせられます。緑豊かな自然を子孫まで残したい。それには使い捨てをやめてゴミを減らすことや、食べ物を粗末にしないこと。どれも当たり前のことですが、身近なことから家族で実践しています。

時折、両親から届く伊那谷の美味しい野菜や果物と短い手紙。不器用ながら地域活動に精力している父と、家族の帰省を楽しみに待っている母の姿が目につかぶ。私もいつか、お世話になった地域の皆様に恩返しできればと思っています。



萩山神社

芸能保存会に關わって

二区 宮 下 清 秀

私は、下市田にお世話様になって、早や三十数年にわたるかと思ひます。その中で、下市田では毎年春祭りが行われています。

ある時獅子舞をやってみなにかと誘われました。始めは獅子部に入部しておりました。獅子屋台では、笛・小太鼓・大太鼓・獅子舞と、

お囃子にも曲目があります。宮神楽・猿囃子・笛・三門・夜神楽・佐衣・大門と七曲あり、場所により、ここからここ迄が宮神楽という様に、通る場所によつて、曲目も決まっています。

屋台の小道具も、笛・小太鼓・

どの部門も覚える事は大変な事と思ひました。その内

に囃子屋台に変更させて頂きました。現在は囃子部となつています。



酒のはなし

六区 福 澤 勝

勤め帰りにちよつと一杯。好きな人にとっては、居酒屋は身の回りの煩わしさやストレスから開放される場所であり、ゆったりとした別の空間である。民俗学者の柳田国男によれば、昔酒宴の席などにふだん出られない人たちが、例えば奉公人等が、酒を売る店へ行き、買って帰るのではなくその場に居て飲んで帰る。そんな店が居酒屋の始まりだと



いう。窮屈な奉公先とは別な所で、晴れて楽しむことができた場所である。飲めば元気が出て、気も大きくなる。「さけ」という日本語の中には「栄え」という意味も含んでいるという。心が浮き立ち、興奮する

大太鼓・大川・つづみ・三味線・スリ金と七種類の小道具が有りますが、こうした物に対して至って不器用な私にとっては、もう十年以上にもなりますが、どれを扱っても、なかなか十分にマスターする事が出来ません。今でも四苦八苦し

方二十年、三十年先の将来、又お祭りに対して意識を高めて頂ける事を期待致します。



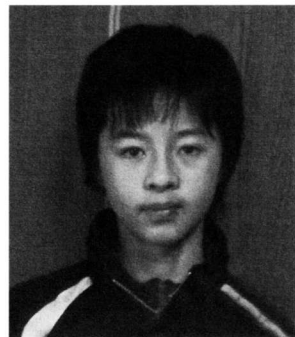
ながら練習をしているところだ。現在獅子部・囃子部では、中学生・小学生のお子様も入部して頂き、頑張つて練習して頂いています。こうしたお子様

いう意味である。魂が躍動し、栄え、盛んになるのが酒の不思議な力であると古代人は考えた。



昔、ペルシャ人は重要な事は、酒を飲み互いに酔いながら相談し合ったと「酒と文化史」の本に出てくる。そこで決まったことをまとめるのが、話し合いの場になった家の主人である。翌日、すっかり酔いのさめた一同に、再び前夜の決定を示し本当にこれでよいのかと問うて、賛成を得て初めて採用された。酔って相談し素面で決する。酒の特質を社会の仕組みに取り入れ

てうまく利用している。逆の場合もあった。素面の時に相談して、後日酔った席で改めて提示して決定である。いずれにしても酒の力を借りないと物事を決しないととなるとこれは単なる飲み物ではなくものである。酒は楽しむものである。



卓球

中三 宮竹

遼 (三区)

僕が卓球を始めたのは、小学三年生の時です。兄がスポーツ少年団で卓球をやっていたので、僕も入りまし

た。中学生になり、卓球部に入りました。先輩たちと一緒に南信大会、県大会をめざしました。中学二年生の時、ジュニアオリンピック

卓球は個人戦・団体戦・ダブルスがあり、それぞれ違ったおもしろさがあります。そして男女や年齢に

関係なく誰とでもできるスポーツです。祖母も卓球をやっているのと一緒にやることもあり楽しいです。年の違う人や、他の中学校の人とも大ぜい友だちになりました。

今年の夏は、北京オリンピックの卓球の試合をたくさん見ました。どんな球でもあきらめないラリーは、とても感動しました。僕ももっと練習して強くなりました。そして卓球をずっと続けていきたいです。



わたしの作文



ぼくの作文



広島の八月六日

小六 牧内萌黄 (五区)

ある事を知らさ
れました。

私は、広島平和のバスに参加して、被爆した人や物、植物に本当の原爆の恐ろしさを学んできました。

「八月六日」という日は広島の人にとってだけの特別な日ではなく、原爆を体験した人もそうでない人もみんなにとって特別な日

です。初めて試合に出る緊張感がありました。その試合は県の強い人たちが出ている大会で、僕は勝つことができませんでした。「もっと練習して強くなりたい。」と思い、町の体協に入りま

した。練習を続けていくうちに、どんどん卓球が楽しくなってきました。中学生になり、卓球部に入りました。先輩たちと一緒に南信大会、県大会をめざしました。中学二年生の時、ジュニアオリンピック

卓球は個人戦・団体戦・ダブルスがあり、それぞれ違ったおもしろさがあります。そして男女や年齢に関係なく誰とでもできるスポーツです。祖母も卓球をやっているのと一緒にやることもあり楽しいです。年の違う人や、他の中学校の人とも大ぜい友だちになりました。

今年の夏は、北京オリンピックの卓球の試合をたくさん見ました。どんな球でもあきらめないラリーは、とても感動しました。僕ももっと練習して強くなりました。そして卓球をずっと続けていきたいです。

地域の紹介

三区力行会

三区自治会長

松村

三区は、南は江戸ヶ沢・北は間ヶ沢に挟まれた東西に細長い地域で、常会数十六、組合数二十四、力行会会員数二百三十戸、独立世帯(二十二戸)、アパート三棟を合わせて二百六十戸余の自治組織であります。三区の世帯数は数年来微増傾向でしたが、ここ二、三年地域内の宅地化が急速に進み、他市町村から移り住む世帯が多く、今年度は約十世帯の新規常会加入者が見込まれます。

自治会組織を「力行会」と称します。「力行会」の由来によれば、明治三十七、八年の日露戦争以後、産業を振興させようと村おこしが芽生え、そんな中からふさわしい名前を付けようと考えられたのが「力行会」であったと記されています。百年余の歴史ある名称で先人の思いが込められ、心引きしめる思いです。



四区 庭村一男

今日も朝から雨、大雨であった。ここ一週間以上毎日大雨が降り続いた。

二十六日、今日は今までない大降りであった。夕飯は早目に食べた方が良く

防災特集

災害は忘れた頃に
三六災害の思い出

五区 小川純弘

災害は消防団に入団した年でしたので出動の連絡を受け、先輩達と一緒に惣兵衛堤防へ駆けつけました。しかし水防作業も空しく農業試験場の方へと下る事になりました。

自家の水田を見ながら下っていくと、黒沢川・大島川

思い五時頃食べて、川寄にある米をすぐ他へ移せる様にと玄関横へと寄せた。その時である、前の橋が詰まり床上近くまで水が来た。これは危ない、近所の人達に大声で頼み、米を隣の納屋へと移してもらった。米を移し終えた途端裏山が崩れて、木が立ったまま山津波となって家を襲った。家は潰れた。五軒ある内で一

番先に潰れてしまった。潰れた家の中には、母親と姉が居たが、不思議なことに無傷で天井上に居た。隣の伯父さんも家の中に居たが逃げて無事でした。な

は水量が多く、飯田線はレールの上まで水があふれていた。鉄橋の下で砂籠に石を入れ堤防の補強を手伝っていたところ上流の土堤が決壊したので危険だから避難しろと連絡があり、あわてて退避しました。

自宅近くの間ヶ沢川を見に行くとき大量の水が流れていった。上流に向かって一〇〇m位上がったといった時、蜂谷さん宅前の川へ松の木が立ったまま流れ落ちてきてびっくりしました。それが橋にひっかかり水が溢れ出し、畑が一面水田のよ



土砂に埋まった下市田の唐沢三郎さんの住宅とその付近

により、家の中は建具はめちゃめちゃ、畳は裏返って床板の下に、でも電球は一

うになってしまいました。また、自宅の裏の一貫水路が壊れて水が大量に溢れ出すから避難したほうがいいぞとの話が伝わり、その時は家が流されないよう裏も表も全部戸を開けっ放し、家の中を水が通るようにしておけとの話もありました。

後日、農業試験場を見ながら自家の堤防近くの田圃へ行こうとしたら、試験場は大被害であった。あわてて自分の田へと走りまわったが田は流されてしまっていて、一面石だらけの河原で



流失した下市田河原
建物は農業試験場

つも切れずに無事であった。屋根は潰れた建物を被うように棟から二つに折れ重なって中の物を雨で濡れない様被っていた。不思議な事に、屋根の上には一番建物の下にあった筈の味噌樽が一つ。その夜は、近所の人達が常会長さん宅に集まって、一夜を不安な思いで過ごす。次の日から大変でした。生活する場所は、お隣の長屋の二階をお借りしての長い生活でした。潰れた建物の片付けは一番大変でした。ご近所、親戚、青年団等の応援で片付ける事が出来ました。

下市田支館防災報告

な物が出来上
がりました。

公民館下市田支館としての今年度の防災訓練は非常に備え、竹とブルーシートを使用してのトイレ作りに挑戦しました。九月七日早朝五時に区長さんからの緊急連絡網により、支館三役・各分館長主事・部員が区民会館に集合しトイレ作りにとりかかりました。介助が必要なお年寄りも利用する事を考慮し、「二人で入るにはこれ位の広さは必要だに」などと、意見を出し合いながら試行錯誤の結果出来上がったのは二メートル四方の角錐型のトイレです。竹を組み合わせシートを被せるだけの簡単な物ですが、いざ組み立てるとなると想像以上に大変で苦労しました。

その後、一区の田中幸蔵さんを講師にお願いし、安全灯作りを体験しました。ティッシュペーパーをこより状に巻き食用油を入れたコップを使つての灯りです。身近にある材料を使つての灯りで、ろうそくの役割も充分果たしコップをビールの空き缶に替え、数を増やせば煮炊きも出来るという、野外活動にも利用出来るそう



写真で残そう萩の郷 事業によせて

区長 林 稔

区報「萩の郷」には多くの史跡や遺産が識者により紹介されています。これを「写真で残そう」との事業が公民館支館で行われ、この度、文化祭に郷土の誇る文化遺産が平易な解説も付されパネル写真で鑑賞頂ける運びとなりましたことは、無上の喜びであります。

この事業に当たりご提案頂いた富田隆仁様、一方ならぬお骨折りを頂きました史談会様、片桐猛様、松島義三様他関係各位に深甚なる感謝を表すると共に、公民館支館の労を称えます。

発案者 元区長 富田隆仁

数年前の事であるが、松川町部奈の葬祭に参列した。会場は公民館で執り行われ参列者の一人として弔意御挨拶の後控室に入った。そこには地区の歴史が一目で判る写真展に準ずる室内飾



2区 墓玉様
浮き彫り像碑

この度「写真で残そう萩の郷」事業に携わり区内に名所旧跡の多さに驚いた。これら全て区の財産であり文化、歴史の伝統保存として後世に残す大事業となつた。支館長を陣頭に、史談会、古文書研究会の卓越した方々の協力を頂き写真撮影、添え書き等、会合を重ね、最終的に写真約五十品が選定され十月の文化祭に展示出来るよう進められている。いずれの一品たりとも一朝一夕にして出来る作



1区 十王堂

副区長 龍口平八

付けがあった。何々石碑と地区の由来が記され、部奈の歴史にふれた思いで感激し、館内のかもいに数多く表示された様は、誠に庄巻であった。その後、区長さん、支館長さんに紹介し、今日を迎えた事を本当に嬉しく思います。



4区 倉屋敷、古屋敷址

品ではないだけに、下市田区の至宝として残る成果に期待しつつ関係各位の苦勞に敬意と感謝を表します。

史談会会長 蜂谷睦雄

市田郷村の成立から(一〇八)江戸末期(一八六七)迄の六百五十九年間の歴史遺産に加え、廻ること平安以降の木造物、そして寛永以降の石造物も下市田には存在していることが郷土史家の調査研究で判明している。その貴重な歴史遺産の一部が区報「萩の郷」1号から36号に亘って三十四点掲載紹介されている。

この度、支館の要請を受け、各区に存在する貴重な石造物などを拾い上げ、対象物の説明も担った。現場を何回も訪れての確認作業、古老の話や、既刊の解説書など参考にしての説明文作成を経て、関係会員相互による最終仕上げ。依頼された事による歴史学習への再認識と感謝。

此の度の支館事業が、別の角度から見ても、下市田区の再認識につながる事を祈念します。

史談会前会長 田戸純市

「写真で残そう萩の郷」松岡支館長の呼びかけ趣旨説明を聞いて、まず良い発想だと思った。昭和四十九年秋頃「活字にして残そう萩の郷」発行の件が持ち上がり、明るく親しい地域づくりを皆の手で」と云う念願が代議員会の議を経て、編集委員会を立ち上げ、原稿を古老・先輩を始め各階層に至る迄多数の応募を得、昭和五十年一月一日創刊号の発行に漕ぎ付けたのだ。以来毎号、貴重な写真が掲載されて、地域の認識を深める大きな役目を果たして来た。扱、区報発行の発端は土地所有権係争事にあった。結果は平成二年三月最高裁判決で高森町が勝つたのだが、明治初年のたつた一枚の下市田区有文書が



3区 御射山社



5区 武陵地第一号古墳

勝訴の要因に繋がったのである。これに依り、活字印刷で区民全戸に配布「分散保存」になって今日に至っているのである。

今回の「写真で残そう萩の郷」も将来に向けて画期的な事業であると思う。

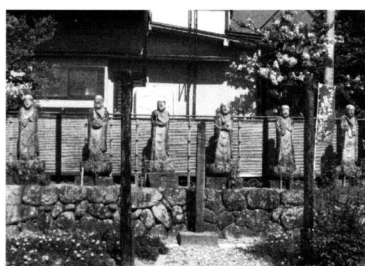
写真撮影 片桐 猛

「この写真では駄目だ」と何度も出かけ、数多く撮り続けてきました。建物の中・お顔かたち・文字など判然としない遺産が多くあり苦勞でしたが、向かい合うことの新しい思いを写真にすることができました。

史談会役員の方々に多くの教えを受け、写真撮影に携われたことをありがたく思っております。

写真撮影 松島義三

写真撮影を気軽に受けたが、実際に撮影すると石碑の字がきれいに撮れない、幾度も撮り直し満足はいく



6区 六地藏

出来上がりではなかった。多数の文化財は祖先が愛着をもって大切に取扱って伝えてくれた遺産で、各時代の文化的財宝である。文化財に対する認識を高め、保護への関心を深め文化財が良好な状態で後世へ引き継がれますように。

公民館支館長 松岡修二

富田元区長さんからご提案をいただいた本事業も、多くの皆さんのご協力を得て、文化祭りに展示発表する事ができました。

史談会の皆さんの適切なアドバイスと説明文の添付、写真撮影を快くお引受け下さった公民館先輩のお二方、本当に感謝します。貴重な萩の郷の財産を写真に残すことができました。区民会館に常設展示してありますので、来館時にじっくりとご覧ください。

支館図書ピーアール

私からお薦めの二冊

公民館下市田支館では従来、計画的に各ジャンルの図書を購入してきました。最近では図書室の他、玄関ロビーにも常設展示し、貸出し簿に各自で記入していただくだけ、という簡単な方法で貸出しをしております。しかし年ごとに利用者が減ってきているのが現状です。そこで今回、区長さん始め多くの立場の方々に、支館図書の中から「とっておきの一冊」を推薦いただき、参考にしていただき、共有財産である支館図書を有効にご利用下さい。紙面の関係上、お寄せいただいた推薦文は掲載できませんが、いい本が沢山あります。是非一度、手にとってご覧いただければ幸いです。

昭和僕の芸能私史(永六輔)
区 長 林 稔
メンタル・コーチング
副区長 龍口 平八
コミック版
プロジェクトX 執念の新幹線
区 会 計 福 島 正 夫

あなたは、ひとりじゃない
一区自治会長 田中幸蔵
庭木野菜草花の病気と病害対策
一区副自治会長 原田嘉治
変な人の書いた成功法則
一区副自治会長 瀬高 肇
図説 飯田下伊那の歴史
一区前自治会長 北沢義弘
コミック版プロジェクトX
二区自治会長 大沢 操
巨宝を築く13の条件
二区副自治会長 上沼輝実
椋鳩十の生涯「野性のうた」
三区自治会長 松村 一
なぜあの人はリーダーシップがあるのか
三区副自治会長 杉田洋一
信州休日の寺社巡り
四区自治会長 橋都栄一
北朝鮮拉致工作員
四区副自治会長 北原政利
人生の達人たち
五区自治会長 久保田利明

人物日本の歴史
五区副自治会長 下井美紀男
日本一だよ長野県
六区自治会長 岡本 健
「星野仙一」勝ちたいんや
六区副自治会長 中垣啓成
60歳のラブレター
一区分館長 片桐幸男
おやじよ、負けるな
二区分館長 朝比 晶大
銃 口
三分館長 林 直一
ハリー・ポッターと笑のゴブレット
四区分館長 棚田利宣
人生は100回でもやり直しがきく
五区分館長 北林勝士
ぼくの心をなおしてください
六区分館長 大島光雄
失敗しない野菜作りQ&A
一分館主事 唐沢清美
黄 落(くらくらく)
二区分館主事 坂牧健央
魂
三分館主事 松沢正昭

拝啓 父上様
四区分館主事 加藤茂美
天涯の花
五区分館主事 大島広司
一台のクルマがあれば人生を変えるのに充分だ
六区分館主事 久保田裕人
陶工房
支館長 松岡修二
ワイルド・ソウル
副支館長 福沢嘉言
ホームレス中学生
支館主事 上沼芳子
こどもたちへ
一区支館副部長 村上英範
ホームレス中学生
一区支館部員 尾野成彦
子どもへのまなざし
一区支館部員 菅沼まなみ
あなたはひとりじゃない
一区支館部員 酒井照子
数学する、遺伝子
二区支館部員 北沢文治
キッパリ
二区支館副部長 宮沢満江

がばいばあちゃん
二区支館部員 北林きみ子
あなたは、ひとりじゃない
三区支館部長 新井光浩
ホームレス中学生
三区支館部員 宮沢幸広
それでもやっぱりがんばらない
三区支館部員 松代和子
14 歳
三区支館部員 鈴木明美
まるこの四字熟語教室
四区支館部員 橋都 融
おやじよ、負けるな
四区支館部員 松原睦浩
あなたはひとりじゃない
四区支館部員 牧内信子
人生は100回でもやり直しがきく
五区支館部員 遠山 元
十二番目の天使
五区支館副部長 藤田和子
中原の虹
五区支館部員 神津久恵
ここの子はこの子でいいんだ、私は私でいいんだ
六区支館部員 上沼岩子

こころの子育て
六区支館部員 原田明美
ハリーポッターシリーズ
六区支館部員 下平正勝
「人生生涯小僧のこころ」
四区洞常会 木村喜久雄
編集後記
昭和四十九年、高寿会の皆さんが「萩山のさと」を、平成六年に史談会の皆さんが「萩山のさと」(第二集)を、そして今年度支館では「写真で残そう萩の郷」事業に取り組みました。また初めて消防団の皆さんと一緒に取り組んだ「消防ふれあい広場」、多くの子供さんの参加もあり大成功。消防の皆さんの若い情熱・パワーは頼もしい、と実感しました。支館で行った防災訓練の報告、地域でも参考にしてみて下さい。従来の敬老会の名称を「萩の郷ふれあい広場」と改めました。招待年齢を七十五歳に上げさせていただき、新調された立机で実施しましたが好評でした。「里」から「郷」へ。このように今年度より支館事業で使用する文字を統一する事になりました。